

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会



自民党公認 河野太郎

貫くべき信念があります。

小泉純一郎元総理が党内の反対を乗り越えて郵政改革を成し遂げたのは初当選から32年後でした。国民のために必要なことは、私もしっかりと信念を貫きます。

年金制度の抜本改革を。

国民年金の保険料納付率は4割以下。このままでは将来の年金が減額される人が続出します。国民年金の納付率が下がると厚生年金から国民年金への拠出金が増え、厚生年金の減額にもつながります。国民年金はすべての国民が満額の基礎年金を受け取れる税方式に改めるべきです。厚生年金も少子化の影響を受けにくい積立方式に移行すべきです。信頼される年金制度が、日本経済の柱である個人消費の拡大につながります。

エネルギー政策の転換を。

原発の再稼働の前には安全性を厳密に判断するのはもちろん、原発から出る使用済み核燃料の処理について、国民的な合意形成が必要です。再稼働された原発も建設後40年で廃炉にしていくと2050年に日本も脱原発を実現します。その間は、化石燃料の中で最もクリーンな天然ガスを代替し、時間をかけて再生可能エネルギーを拡大していくべきです。温暖化対策として、中国やインドの旧式の石炭火力発電所を日本の最新の石炭火力発電で置き換えるべきです。中長期的には燃料費がかからない再生可能エネルギーが主役になっていきます。再生可能エネルギーは地域分散型エネルギーですから、地域でお金が回るようになります。

アベノミクスを考える。

民主党政権末期と今を比較すると、GDPは512兆円から523兆円に拡大し、物価はマイナス0.2%から1.0%に転じ、日本経済を蝕んでいたデフレから抜け出しました。失業率は4.3%から3.6%へ改善しました。株価も大幅に上昇し、そのおかげで安倍政権の二年間で年金の積立金が25兆円も増え、年金も一息つくことができました。円安のデメリットがはじめています。しかし、住宅ローンなどを考慮すると、当面、金利を低く抑えるために日銀の金融緩和が必要で、将来の金融緩和からの出口を探るためには財政の健全化が必要です。自民党の行革推進本部長としての私の重い責務です。

中小企業に対する融資については経営者の個人保証を求めない検討を行うこと等を盛り込んだガイドラインの適用が始まりました。今後、こうした融資が拡大すれば、創業も増え、中小企業の活力が引き出されていくでしょう。

たしかに消費税の8%への引き上げの影響は予想以上でした。しかし、様々な経済指標が向上していますから、やがて日本経済も踊り場から抜け出します。そしてそれを賃金の引き上げにつなげていくのがアベノミクスの目的です。

これからの医療や介護、年金、子育て支援を確実なものにするために、消費税を引き上げられる経済環境を創りだしていくことが我々の役割です。



日本共産党 沼上とくみつ

ぬまかみ 徳光

安倍政権と対決
日本共産党への
ご支持を

私は28歳です。若者を戦場に送り出す集団的自衛権の行使の容認、秘密保護法の強行など、安倍自公政権のすすめる「海外で競争する国づくり」にストップをかけ、平和と民主主義を守れる声を国会に届けます。私は、運送会社に勤めていました。若者を使い捨てにするブラック企業を根絶します。働くルールを確立し、正社員が当たり前に、若者が安心して働ける社会をつくるために、全力でがんばります。

消費税に頼らない 2つの改革

日本共産党は、消費税に頼らない、暮らしと経済を立て直す2つの改革を提案しています。

① 富裕層や大企業への応分の負担を求め、税制改革。

② 大企業の内部留保285兆円の一部を活用し所得を増やす経済改革。

この2つの改革をすすめる、社会保障の財源確保と財政再建をはかります。

暮らし第一で 経済を立て直す 3つの提案

① 人間らしく働ける雇用のルールをつくる

② 社会保障切り捨てから充実へ

③ TPPからの撤退、日本の農業の再生、中小企業の振興

アベノミクスで格差拡大、景気悪化
消費税8%増税、金融緩和による円安、物価高騰などで、15ヵ月連続で実質賃金が下がり、国民の所得が増えず景気悪化は深刻で、これは、増税不況にほかなりません。3党合意で消費税増税をすすめた自民、民主、公明の責任はきわめて重大です。

「海外で戦争する国づくり」やめ 憲法9条を生かした平和外交を

集団的自衛権行使容認の「閣議決定」の撤回を求め、憲法9条を生かした外交で、紛争を話し合いで解決する北東アジアの平和の枠組みをつくりたい。国民の目・耳・口をふさぎ、戦争に動員する特定秘密保護法は撤回させます。

再稼働ストップ 「原発ゼロの日本へ」

福島第一原発事故で、原発と人類は共存できないことが明らかになりました。1年以上も原発ゼロで乗り切りました。原発に頼らず、再生可能エネルギーへ転換します。

消費税10%先送り なくす

日本共産党 とのお書き ください

金権政治ノー、政党助成金廃止
「カネ」で政治をゆがめる自民党が、国民の声で政治を動かす日本共産党が、自共対決は鮮明。共産党以外が受けている企業・団体献金禁止、政党助成金廃止で、国民の声が生きる政治をつくりたい。

国民を裏切る政治から、国民の声が生きる政治を

党15区 雇用問題相談室長
沼上とくみつ 検索
http://numakami19860525.blog.fc2.com/

打倒しがらみ政治! わが町・湘南から元気回復

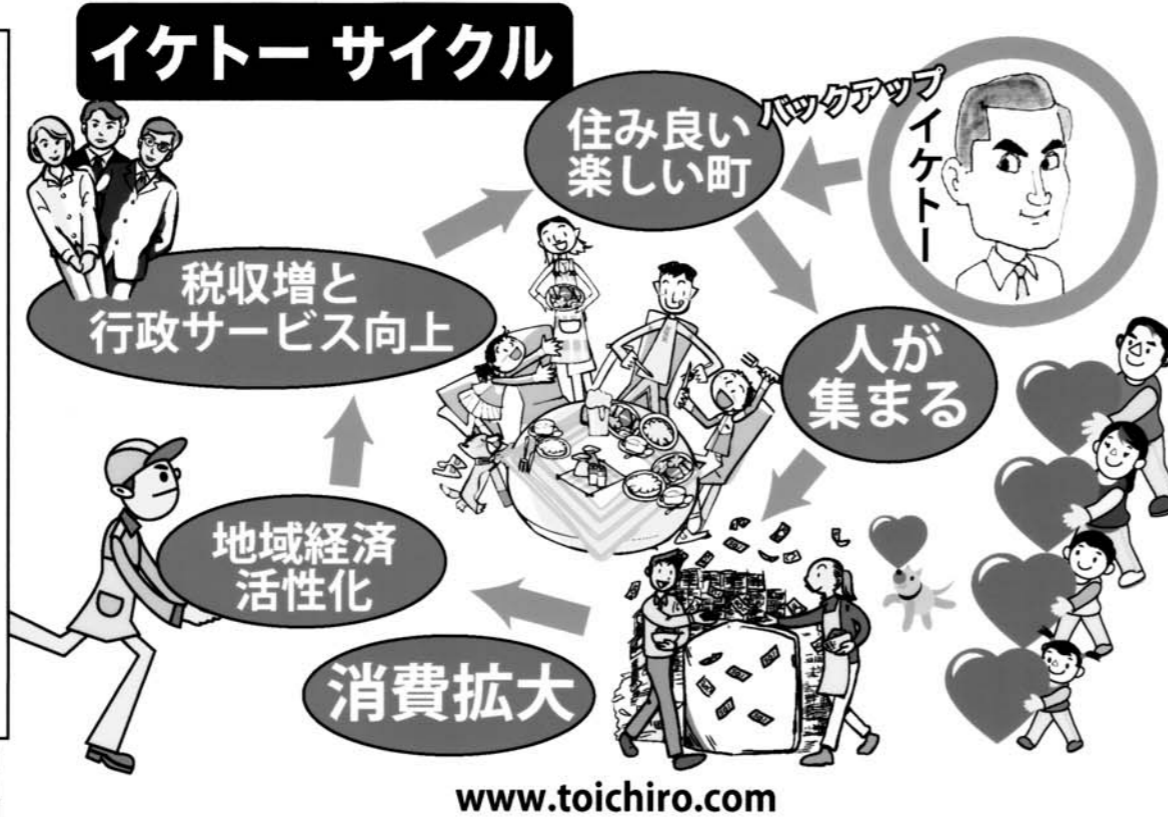


池田東一郎

いけだ とういちろう

■皆様、一九九六年の総選挙で、新進党公認候補者として神奈川県15区を闘った池田東一郎です。十八年間の様々な思いを込め、信念を貫いてがんばります。■さて、今度の解散・総選挙は三つのチャンス到来です。①特定秘密保護法強行採決、集団的自衛権行使閣議決定、原発再稼働・原発輸出推進といった、「強引な自民党政治」にブレーキをかけ、②日本経済停滞の原因となっている各種団体からお金を集めて選挙をする「しがらみ政治」を改め、③各種団体や政党のためではなく、「地元のために働く」議員を選ぶ、大きなチャンスです。

■私は「無所属」という立場で非自民勢力を結集し、有権者一人一人との絆を大切にしながら、地元の住み良い楽しい町づくりをバックアップし、左の「イケトーサイクル」で、わが町湘南から日本の元気を回復します。



●プロフィール
1961年7月31日生(A型)、開成高校、東京大学医学部卒業(東大野球部に所属)。1986年労働省入省、外務省出向を経て大蔵省で大臣秘書官を務める。その後政治活動に入り、衆参国会議員の政策担当秘書を歴任。特技は社交ダンス(教師免許取得・JCFプロC級選手)

無所属